化方中央黨部 0

幹部

政府成立式은今月末頃일矢

米政府發表 (事確領六日変) 米政府で表 中と情報の接前が合の民萬全号 期かり為前の勝顧隊の對から何 期かり為前の勝顧隊の對から何 以下の長利上野コ도号準備長命称

陣容回復並韓軍

溉縣《總攻擊

津浦戦

線

再次緊張

歌文呈安定

六日愛)莱薩着電で依損害調査開始

富橋府議長の河州展州圏が依めて東京電) 潤口首相の1六日倉

BB

政府當局上態度强硬

大愛揚石 動水 水

作製門事

商標

小國海軍側の

交隊是大

張

五個年間の

游縣避難民

委員選擧가

四版の一名으로配常되父中ユコー語部組織の組織部宣傳部民衆の制練部定分各各委員以破表プラー

郷の早に日の次回正式會議外内で政府問題に政府委員人遇到財役教表言は州田外の市委員人遇到財役教表言は州田外の部委の機關当組工會議と中央第部最高機關当組工会議

張學良氏

北方の好意를表示

今後態度가注目處

山公園

上海七日設)、精液体は 日曜待日本日来窓色日本 田曜台日本日来窓色日本 西宮の報告終了タス ご紹 では、一日前提下の左公司

賠

英軍隊派遣

(上海七日愛)

國府聲明發表

○当覧の司 全的の豆芸 司・ 中心変形の展開包 司・ 中心変形の展開包

51 互顧 012、 空軍 8大擴張 米國施軍 47 芒、 八千 近百萬 弗

A

面

#

姑

**ら楽書東当畿示問題豆に叶川**の列中の日前からと軍艦條約

軍機機能の、特代語のド、なる。 三十二年の東京の中、なる

0

反蔣軍의罪
ルエ

共黨員十數名射殺

(上海七日發) 南京政府外交 おい口命令也以り口他と馮玉祥 中旬が上七日の『台神三世三置發が ペプロスのロス月二日付2日下北平的 以と汪光銘の字宗仁張歿奎等四 中旬外又の九江藍湖其他長江一下 一部 は大の七月三十一日の強む大り出其 中旬外又の九江藍湖其他長江一下 間より 共産軍斗連絡がは関密を対した が湖南湖北安徽江西의各共産軍 中海南の共産軍斗連絡がは湖南の共産軍斗連絡がは湖南の共産軍斗連絡がは湖南の共産軍斗連絡がは湖南の大江東湖下の大阪である。

党中諸田の第一号念風がい要所が、こ土産会領地がいる

**(** 

流言の

漢口方面の

如党派軍令央議하고 | **反蔣派上即時釋放** 五 蔣派与逮捕か引エ

大英帝國의暗影

埃及의動揺

**かっ書いよりの流配** 

部局英

電을決議

山政府の交付おい施行別のおい擴大會議の承認を総討論建議に中央黨部

旧問題及計劃を討論央で映政治會議に中央第 入會議

四、驚部の地方分流を實行ない、大学のでは、

**八宣言書王發表** 六、政務官の薫員の記書の一次、政務官の薫員の記書の一次、技術家と此限の不在智力の個人獨裁書政行み父へ十比の第章除去計기當みの中央、地界量除去計기當みの中央、地方機限金確立型ス

國問題が 國務當局言明

(南島七日愛) 砲火雨下의場(南島七日愛) 砲火雨下의場で開き向おび、十石遊離民型に取りが、日夜の僅近野で、カチで、一泊む後今朝の駅が三一、カチで、五、寒亭の七計

八日橫濱入港『學』中尉

of

権益保護以外他意むけれ

府承認の依おい必然的으로表の友交精神の単米利加의同政

豫算八

木大陸号 日間の横断

4 科洋岸日中連絡9 職矢豆分太西大磯の、岩瀬部総の中 

千台增加計劃 五百萬弗 005248

果手續管取み기도考 消 息 草 0]

顯電工業所 OO

## BESTERNICUSES:

**建五〇三二世 〇〇三二合 発療**療

(九九〇四京版:、七八一新賀斯領京)

BEA @ 坐於九頭以及200

(武公皇本位明) 就松七期至

AME ITEMPO MENT **他们内部还 打多数运动 整数** 

は日本皇三・母子可」氏外の他) 太平洋横断飛行り

條約前途の 答文提示問題呈 委員會서正式으로 暗影

提示키를要求할目

國民政府監察委員

東北海防軍納司令張學具氏三省 奥黨有志罕名義呈

趙戴文氏
言罷免 除名逮捕判忌决定 海相의 辞職要求 政友會側의反間策 民政總務會叫報告

『內見。强硬主張的 

機麵製式崎眞 製麵機切

ポンプの 語〉種機

真崎町機械工

工場新築三週年記念大放賣

山梨水晶株式富量

에地産原은鏡眼晶水

日日

四名의里

川城圏の

日守備兵山

雙方哨死者만三名

共軍은